



平成30年度

第4回 みみらんどセミナー 報告書

テーマ「聴こえにくい子を指導する際の心と言葉への配慮」

☆ 実施日時 ☆ 平成30年10月11日（木）14：45～16：30

☆ 講師 ☆ 全国早期支援研究協議会会長 南村 洋子先生



子どもに「分かる生活」を・・・

↓

○手話の導入

・聴こえにくい子どもたちの
共通言語として



手話は
「聴こえない・聴こえにくい
子どもたちにとっての言語である。」

*子どもたちは「目の人」（視覚優位）
手話言語が最適な人

手話の導入のメリット

- コミュニケーションのスムーズ化
- 子どもと母親との安定した関係の成立
- 家庭内での情報交換の成立
- 豊かなイメージの定着
- 子どもらしい暮らしの保障

聴こえない子どもにとっての
幼稚園保育に大切なこと

- 共通言語のある保育
- 子どもらしい遊びのある保育
- 人間としての基礎作り
- 日本語の基礎作り

幼稚園生活
～小学部の下延長ではない～

- イメージ創り→遊び
- 思考力の基礎→自分で考える
- 人との関係作り→議論
- 話し合う大切さ→過程を大切

文字言語習得のために
～就学までに読める子どもに～

- 手話から日本語へ
手話を用いたコミュニケーションにより
豊かな概念形成を図る。

↓「再現遊び」

子どもの手話を正しい日本語（文字・指
文字・音声）につなげる。

{家庭の協力が不可欠}

読み書きの力を身に付けるために
幼児期にできること

- 写真（絵）カード・・・イメージづくり
- 体験カード・・・イメージづくり
- 絵日記（文字と絵）… 手話を日本語に
- ことば絵辞典・・・上位概念の形成
- 文字カード・・・手話を日本語に
- 絵本とのかかわり・・・手話を日本語に
- 日本語のことば遊び…日本語に親しむ
- 本を読む（活字）・・・日本語での思考